

(しろかね1ちょうめせいぶなか)

NO. 247 白金一丁目西部中地区(組合施行)

1 計画の概要

計画地	港区白金一丁目、三丁目地内		
計画の概要	1	地区内に十分な幅員の道路が少なく、歩行者の安全性の確保や車両動線の円滑化が課題であり、また、広場等のまとまった規模の空間がなく、老朽化した住宅と工場が混在するなど、防災機能が不十分で、さらに隣接商店街との連続性が欠けているなど、市街地環境の改善が求められていた。	
	2	街区再編による土地の集約化、道路、広場などの基盤施設の整備・拡充により市街地の整備水準を高める。	
	3	定住性の高い良質な住宅の導入や、地域の賑わい軸である白金商店街と連携する商業機能を導入し、さらに地域産業である工場機能を適切に配置することで、住宅・商業・工場などの機能が融合した魅力ある複合市街地を形成する	
地区面積	約1.6ha	構造	A街区 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 B-1街区 鉄骨造 B-2街区 鉄骨造
階数	A街区 地上39階 地下1階 B-1街区 地上4階 B-2街区 地上4階	高さ	A街区 約140m B-1街区 約15m B-2街区 約15m

2 都市計画の内容

名称	白金一丁目西部中地区第一種市街地再開発事業		施行区域面積	約1.6ha		
公共施設の配置及び規模	道路	名称	幅員	延長	面積	備考
		区画道路1号	10m	約150m	—	新設
		区画道路2号	10m	約130m	—	拡幅
		区画道路3号	8m	約110m	—	拡幅
建築物の整備	街区	建蔽率	容積率	建築物の高さの限度	壁面の位置の限度	主要用途
		A	—	—	140m	2m、3m、5m
	B	—	—	20m	2m、3m、5m	工場、住宅、駐車場
		建築面積	延べ面積(容積対象)	住宅建設の目標		
	A	約5,100㎡	約98,000㎡ (約72,500㎡)	約900戸	約87,000㎡	
	B	約600㎡	約2,000㎡ (約1,700㎡)			
建築敷地の整備		建築敷地面積	整備計画		備考	
	A	約11,200㎡	・憩いや交流機能を担い、災害時にも活用できる広場を整備する。 ・歩行者の安全性、快適性及び回遊性の向上を図るため、道路沿道に歩道状空地を整備する。		建築物の高さはT.P.+8.0mからによる	
	B	約1,000㎡				
都市計画決定	平成30年7月2日 港区告示第185号					

3 高度利用地区

地区名		面積	容積率の 最高限度	建蔽率の 最高限度	容積率の 最低限度	建築面積の 最低限度	壁面の位置 の限度
白金一丁目西 部中地区	A	約0.3ha	650%	60%	250%	200m ²	2m、3m、5 m
	B	約1.1ha	650%	40%	250%	200m ²	2m、3m、5 m
	C	約0.2ha	400%	60%	150%	200m ²	2m、3m
都市計画決定	平成30年7月2日 港区告示第184号(変更)						

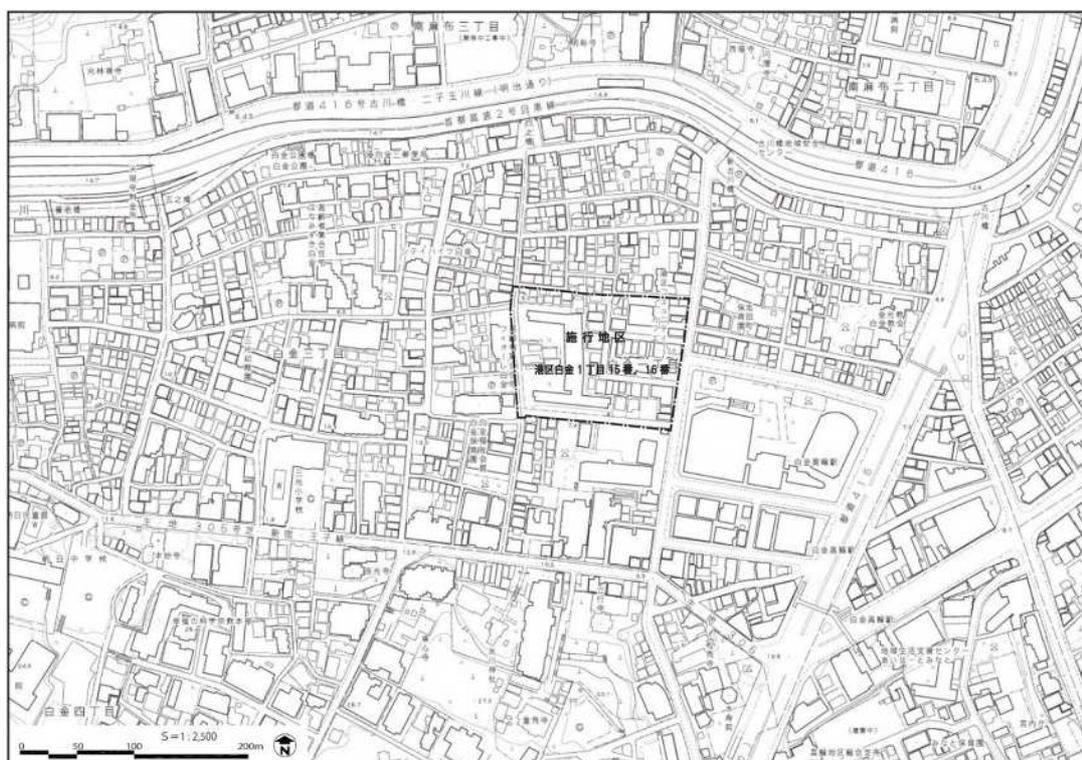
4 事業計画の概要

敷地面積	A街区:約11,126m ² B-1街区:約486m ² B-2街区:約534m ²	建蔽率	A街区:約43% B-1街区:約56% B-2街区:約61%	
延べ面積	A街区:約97,974m ² B-1街区:約998m ² B-2街区:約953m ²	容積率	A街区:約649% B-1街区:約178% B-2街区:約151%	
用途	A街区	住宅、子育て支援施設、 店舗	住宅戸数	A街区:973戸 B-1街区:12戸 B-2街区:6戸
	B-1街区	住宅、事務所、工場	駐車場	A街区:約263台 B-1街区:約1台
	B-2街区	住宅、店舗		
事業認可	令和4年6月24日 東京都告示第969号 令和5年12月6日 東京都告示第1234号(変更)	総事業費	約790億円	

5 経緯

年月日	内 容
平成18年7月	「白金一丁目中地区まちづくり研究会」発足
平成19年10月	「白金一丁目中地区再開発研究会」へ改組
平成25年4月	「白金一丁目西部中地区市街地再開発準備組合」設立
平成30年7月2日	都市計画決定及び変更 (第一種市街地再開発事業、地区計画の決定) (高度利用地区、高度地区の変更)
令和4年6月24日	組合設立認可
令和5年12月6日	事業計画変更認可
令和6年2月7日	権利変換計画認可
令和6年2月22日	権利変換期日

6 位置図



7 区域図



8 完成予想図

